

妊 娠

われらの主は偉大であり、
力に富み、
その英知は測りがたい。

主はすべてのものにいつくしみ深く、
そのあわれみは、
造られたすべてのものの上にあります。

彼らに主の名をほめたたえさせよ。
主が命じて、彼らが造られた。

詩篇 147 篇 5 節、145 篇 9 節、148 篇 5 節

1 か月め

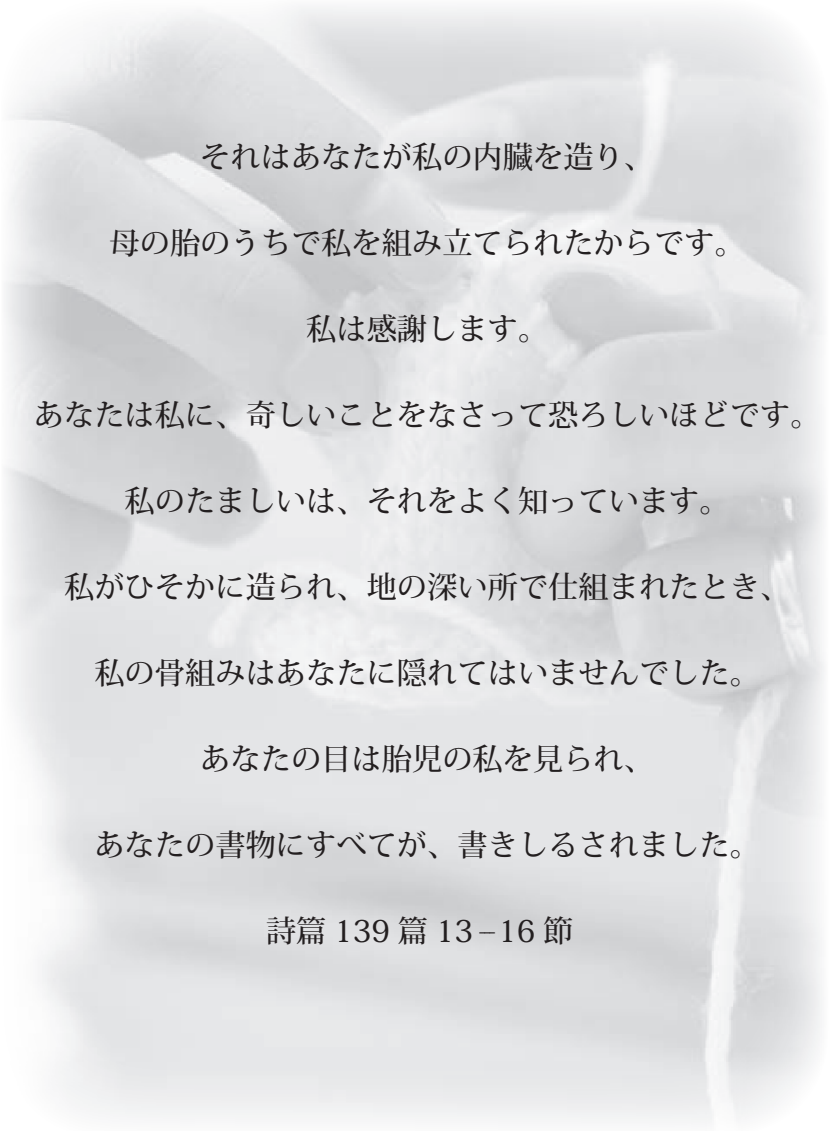
最も大切に驚くべき胎児の発育は、病院で妊娠が確認される前からすでに起こっている。いかなる小説家も科学者もかつて想像したことがないほどの驚くべきストーリーである。

性交により放出された5億もの精子のうちの1つが、胎内深くに抱かれている卵子と結合したその瞬間、胎児の性別、髪の色、目の色が決まる。

最初の数日で、受精卵は200以上の細胞となる。最初からまさしく人間としての細胞である。あなたが家族のために家を整えるように、あなたの体も子どものための家を備える。体内のプロゲステロン（黄体ホルモン）や他のホルモンのレベルが急上昇し、あなたもその変化に気づく。

1か月の終わりには、胎児の脊髄や心臓が形造られ始める。消化器官や知覚組織も造られつつある。もうすぐ腕や足になるべき小さな突起が現れる。新しい人間が生まれようとしている。あなたの人生も大きく変わろうとしている。

（訳注—日本では妊娠期間を十月十日と数えますが、本書の「1 か月め」は、日本で言う妊娠1 か月から2 か月までを指します。以下、順次1 を足すと、ほぼ日本での数え方に相当します。「出産」の章が、日本の十か月めです。）



それはあなたが私の内臓を造り、
母の胎のうちに私を組み立てられたからです。

私は感謝します。

あなたは私に、奇しいことをなさせて恐ろしいほどです。

私のたましいは、それをよく知っています。

私がひそかに造られ、地の深い所で仕組まれたとき、
私の骨組みはあなたに隠れてはいませんでした。

あなたの目は胎児の私を見られ、
あなたの書物にすべてが、書きしるされました。

詩篇 139 篇 13-16 節

妊娠を受け入れる

すべての事について、感謝しなさい。

これが、キリスト・イエスにあって
神があなたがたに望んでおられることです。
テサロニケ人への手紙第一 5章 18節

妊娠に至る状況は、それぞれ千差万別です。何か月にも及ぶ計画と祈りの結果として与えられることもあり、予期せぬ知らせに驚くこともある一方、計画もなく望みもしない妊娠のために恐れや不安を抱く妊婦もいます。

計画していたにせよいなかったにせよ、これからの数週間で、「この子は、私の人生に対する神のご計画の一部なのだろうか」という問いにあなたは答えを見出さなければなりません。

聖書の答えは、平安を与えます。あなたの子は、天の父もご存知ないうちに宿ったものではありません。あなたの胎の子への神のことばは、預言者エレミヤへのみことばと同じです。「おまえが母の胎内に宿る前から、おまえを知っていた」（エレミヤ1章5節 TLB）

妊娠を知った瞬間から、その子を神のみこころとして受け入れることができます。誰が何と言おうと、みこころはあなたに最大の幸せをもたらします。神が作られたあなたの人生の計画に疑いを持ち、ひそかに恐れたことがありますか。

ヨハネの手紙第一 4 章 18 節を読めば、なぜ恐れるかが分かります。

私たちが心から愛してくださる方を、どうして恐れる必要がありますしょう。もし恐れがあるなら、それは神様が私たちに何をなさるか、不安をいだいている証拠です。神様の完全な愛は、そんな恐れを、すべて取り除きます。恐れている人は、神様の愛をまだ十分理解していないのです。(TLB)

子どもの時から天の父のことを聞いていても、神があなたを個人的に、無条件に愛しておられることに確信が持てないかもしれません。妊娠中は、どんな時よりも神の愛を十分に理解する必要があります。神の愛に身を任せ、あなたと家族が日々を平安に過ごせるようにしなければなりません。

神の愛のメッセージは、聖書のいたるところにあります。「私たちが心から愛すると言われた神様」(ヨハネの手紙第一 4 章 16 節 TLB) を信じなければなりません。神があなたにとって最善を望んでおられることを理解すると、「神様を愛し、神様のご計画どおりに歩んでいるなら、自分の身に起こることはすべて、益となることを知っている(ローマ人への手紙 8 章 28 節 TLB)」という約束を信じることができるでしょう。

妊娠中は、ホルモンの変化で情緒不安定になり、時には神の愛を(あるいは誰の愛をも)感じられない時があるかもしれません。(体内のホルモンには 3 倍に増えるものもあります!) でも、信仰の土台は感情ではありません。みことばが神の愛を保証していることを忘れないでください。

コリント人への手紙第二 5 章 7 節で、「私たちは見るところによってではなく、信仰によって歩んでいます」とパウロは言います。つまり、私たちの霊的生活は、気まぐれな感覚や感情ではなく、永遠に変わらないみことばに基づいているのです。あなたの妊娠は、あなたとあなたのおなかの子を愛しておられる主の御手によってなされたことです。

不安な社会

社会がこんなに不安定なのに子どもを産むとはと、ためらいを感じるか

もしません。ニュースは、見る者の心を暗くします。現代女性の多くは、将来を心配して子どもを産むことをためらいます。

クリスチャンも例外ではありません。イエスさまは再臨の約束とともに、「戦争や戦争のうわさ」を警告しました。環境論者は世界の人口増加の自然への悪影響を指摘し、メディアは家族の価値観の崩壊と薬物やアルコールや感染症の危険を叫びます。若い女性が将来に対してひそかに不安を抱いても何の不思議ありません。しかし、これもクリスチャンが子どもを産まない理由にはなりません。聖書の原則は時を超えたもので、エレミヤ 29 章 5－6 節では出産に関する神のみこころが変わらないことが強調されています。神の民がバビロンで捕囚に直面した時も、聖霊は預言者を通して教えました。

家を建て、長期の滞在計画を立てよ。長年にわたってそこにいることになるから、ぶどう園をつくれ。結婚して、子供をもうけよ。子供には相手を見つけてやり、多くの孫が生まれるようにせよ。人口を減らしてはならない。(TLB)

11 節では、私たちが自信を持って未来に立ち向かうことができる根拠を述べています。

わたしは、おまえたちのために立てた計画をよく知っている。それは災いではなく祝福を与える計画で、ばら色の将来と希望を約束する。(TLB)

これは、神の子に 2 つのことを保証しています。

1. 神は、私たちが家族を持つ喜びを味わうよう願っておられる。
2. 神は、私たちが直面するどのような状況においても私たちの家族を祝福し守られる。

クリスチャンの夫婦が子どもを持たないのには、色々な理由があるでしょう。しかし、恐れが理由にはなりえません。恐れに基づいて決断すべきではないのです。

「神の本の不思議」

DNA（デオキシリボ核酸）。1953 年イギリスのケンブリッジで、科学者たちは、生命の基礎的な分子を分離することに成功した。正常な人間の一つ一つの細胞は（受胎直後の胎児でも）すべて、遺伝子から成る 46 の染色体を含んでいる。半分は父親、半分は母親から与えられる。それぞれの細胞の中の DNA は、極微小のらせん階段のように見える。

DNA は小さなコンピューターで、インテルが夢見た最小のコンピューターより小さい。データバンクには、生命の生物学のおよび科学的機能を詳細に綴る、ほとんど想像もつかない情報量がプログラムされている。たった一つの人間の細胞にある一筋の DNA は、600 ページの厚さの本 1000 冊分の情報を収容できる。まさしく「神の本」である。（詩篇 139 篇 16 節参照）

過去の妊娠

女性がどんな事態に直面しても、聖書は慰めと知恵を与えます。

流産の悲しみが分かりますか？

私たちの大祭司は、私たちの弱さに同情できない方ではありません。
(ヘブル 4 章 15 節)

聖書の中で最も古いものの一つであるヨブ記には、「光を見なかった嬰兒」は、「この世の王たち、また議官たち……下の者も上の者」といっしょにいるであろうと書かれています（ヨブ 3 章 9－19 節）。

旧約聖書は、流産の子は永遠に失われてはいないことを示しています。詩篇 139 篇 16 節を覚えていませんか。「あなたの書物にすべてが、書きしるされました。私のために作られた日々が、しかも、その一日もないうちに」

1953 年に、科学者が顕微鏡で受胎時からあるらせん状の DNA を初めて確認した時に見たのは、神の書物です。流産の場合、書物の青写真が天の御国で実現されると私は信じます。

アメリカ合衆国だけで、毎年約 40 万人の女性が流産の痛みを経験します。医者は、ほとんどの自然流産は青写真が適切に機能しないことによると言います。

まれに、産科医が治療可能な状態を発見することがあります。子宮筋腫のような解剖学的な異常、細菌による感染症、あるいはホルモンの欠乏などです。

聖書の約束には、そのまま流産にあてはまるものがあります。詩篇 113 篇 9 節 (TLB) には、「不妊の女は子宝に恵まれて、しあわせな母親となる」とあります。創世記 49 章 25 節では、女性は「乳房と胎の祝福」を求めることができるとあります。実際、旧・新約聖書で肉体が癒された人を数えると、最も多いのが子どもを求めた女性です。

流産の後で妊娠を恐れるのは当然ですが、かといって、子どもを持つ喜びをためらうべきではありません。もし前回の妊娠が流産で終わったなら、次のみことばを自分のことばで書いてみてください。

創世記 49 章 25 節

詩篇 128 篇 3 節

子を産まない不妊の女よ。喜び歌え。

イザヤ 54 章 1 節

不妊の女は子宝に恵まれて、
しあわせな母親となるのです。

ハレルヤ！

詩篇 113 篇 9 節 (TLB)

神は知っておられる

天の父は、あなたの胎児を知り、その成長過程に親しく関わります。また天の父はあなたをも知り、御霊はどんな時にもあなたとともにおられます。天の父は、あなたの現状もご存じです。あなたに健康上の不安があるかどうか、保険の請求書や医療費のこと、育児への不安についてもご存じです。

今月は、旧約聖書にある創造主の名前の一つを覚えましょう。創世記 16 章には、荒野をさまよっていた妊婦の心動かされる話が書かれています。妊婦の名はハガルで、その子は後にイシュマエルと名づけられます。ハガルは、おなかの子についても自分の将来に対しても絶望していました。けれども、驚くべき主のご臨在に慰められ、将来の希望も与えられたのです。ハガルが呼んだ創造主の名は、何世紀にもわたってユダヤ人にもクリスチャンにも愛されています。その名は、エル・ロイ「私を見られる方」です。

中絶を後悔していますか？

望まない妊娠をした女性が、中絶を勧められることがよくあります。胎児の父親や自分の両親、医療関係者からです。また、ただ怖いとか、自分が命を宿している自覚のないまま、安易に中絶を選ぶ女性もいます。

多くの女性が後悔と罪悪感を味わい、実に苦しく、心がなえるような経験をします。後悔と罪の意識は、情緒面だけでなく霊的な苦しみでもあります。唯一の答えは、イエスさまが「人となって、私たちの間に住まれ」(ヨハネ 1 章 14 節)、「私たちの罪のために傷つき、血を流した」(イザヤ 53 章 5 節 TLB)ということです。

哀歌 1 章 16 節 (TLB) では、エレミヤは神を「慰めてくれる者」と呼びます。そして神は預言者イザヤに、「エルサレムに優しく語りかけよ。……その労苦は終わり、その咎は償^{とが}われた」(イザヤ 40 章 2 節)と言われました。

どうかこの新しい妊娠に、後悔や罪の意識を持ち込まないでください。このイザヤ書の力強い救いの約束を下に書き写してから、暗記してみましょう。

あなたの人生のこの決定的な時に、あなたとあなたの子どもへの神さまの愛を御霊によって確信させていただきましょう。神さまが「エル・ロイ」（私をご覧になるお方）であることを信じましょう。神さまの愛を、知識としてではなく心から受け入れましょう。

次の学びを始める前に、正直な祈りをもって御前に出てください。ヘブル4章15―16節では、恐れずに神に近づくように勧めています。あなたと神の関係は、ごく親しいものですから、神を「アバ、父」（ローマ8章15節）と呼べるのです。「アバ」はギリシャ語で、原語に最も近い訳は、「お父ちゃん」とか「パパ」でしょう。

おなかに宿した子は、あなたへの神のすばらしいご計画の一部だという確信が与えられるよう願いましょう。そしてさらに、神があなたの子どもにも、すばらしいご計画をお持ちであることを確信させてくださるよう願いましょう。そうすれば、胎の子というかけがえない賜物への感謝があふれるでしょう。

見よ。子どもたちは主の賜物、
胎の実は報酬である。
詩篇 127 篇 3 節

信仰の成長のために

私は神の愛に信頼できる

ヨハネの手紙第一 4 章 9–10 節を読みましょう。神の愛が私たちに示された最もすばらしい方法は何ですか？

あなたは、神の御子イエス・キリストを個人的な救い主として受け入れることによって、神の愛という贈り物を受け取りましたか？ _____
「もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです」（ローマ人への手紙 10 章 9 節）

イエスさまはあなたを愛しているだけでなく、あなたを完全に理解しています。どうして、それがおできになるのでしょうか？（ヘブル 4 章 15 節）

私たちが神の家族の一員となってからも、罪のために神から離れてしまったように感じる場合があります。しかし、天の父との親しい関係は直ちに回復できます。どのようにしてでしょう？（ヨハネの手紙第一 1 章 9 節）

神の愛を遠く感じる必要はありません。

私は神のみこころに信頼できる

神の子どもとして、あなたは自分の人生への神のご計画を知りたいと熱心に願うようになります。なぜなら、神の愛は、神の知恵からあふれ出ると知っているからです。イザヤ書 55 章 8－9 節は、神の知恵と私たち自身の計画や決断について何を教えてくれますか？

ヤコブ 1 章 17 節は、神があなたに与えたいものについて、どう述べていますか？

イザヤ 55 章は、神のみこころに従って生きる喜びを教えています。12-13 節には、どんな恵みと祝福がありますか。

まだ独身だったり、夫と別居中に妊娠したとしたら、あなたは深く悩んでいることでしょう。しかし、主は あなたの慰め主、カウンセラー、助け主になってくださいます。イザヤ 54 章 4－8 節を読み、あなたへの神の約束を書き記してください。

私は神の方法に信頼できる

妊娠は特権です。創世記 4 章 1 節を読みましょう。そもそも、あなたが妊娠できたのはなぜですか。

この地上における私たち人間の祝福の中心として、神がご計画なさっているものは何ですか？（詩篇 128 篇 3－4 節）。

新しいいのちを形造るという役割は、神からの驚くべき賜物です。最も神のみわざに似ているところかもしれません。

新約聖書は、胎児と新生児の両方に「ブレフォス」というギリシア語を使っています。妊娠中のエリザベツ（バプテスマのヨハネの母）がマリヤに会った時、胎内の「ブレフォス」が喜びでおどりました。（ルカ 1 章 41 節）後にマリヤは、初子のブレフォス（イエス）を布にくるんで、飼葉おけに寝かせました。（ルカ 2 章 7 節）

あなたのおなかにいる小さな胎児は、神の目にはすでに赤ちゃんなのです！

助けとなるみことば

神は私を愛しておられる

永遠の愛をもって、わたしはあなたを愛した。それゆえ、わたしはあなたに、誠実を尽くし続けた。（エレミヤ 31 章 3 節）

（その他）申命記 7 章 8 節、ヨハネ 3 章 16 節、13 章 1 節、15 章 13 節、16 章 27 節、ローマ 5 章 8 節、8 章 35 節、エペソ 2 章 4－5 節、ヨハネ第一 3 章 1 節

子どもは神からの祝福、報い

見よ。子どもたちは主の賜物、胎の実は報酬である。(詩篇 127 篇 3 節)

(その他) 創世記 33 章 5 節、48 章 9 節、ヨシュア 24 章 3 節、詩篇 113 篇 9 節、127 篇 5 節、128 篇 3 節、箴言 17 章 6 節、イザヤ 8 章 18 節

神が私の子を組み立てている

それはあなたが私の内臓を造り、母の胎のうちに私を組み立てられたからです。(詩篇 139 篇 13 節)

(その他) ヨブ 10 章 8－12 節、31 章 15 節、詩篇 119 篇 73 節、139 篇 14－16 節、伝道 11 章 5 節、イザヤ 42 章 5 節、43 章 7 節、44 章 2 節、21、24 節、49 章 5 節、ゼカリヤ 12 章 1 節、マラキ 2 章 10 節、使徒 17 章 24－28 節、コロサイ 1 章 16－17 節、黙示 4 章 11 節

まとめ

神さまが、今の妊娠を、あなたの人生の素晴らしいで計画の中で用いてくださると信頼できれば、胎の子を賜物として感謝できます。あなたと赤ちゃんの人生を主におゆだねすれば、「神がすべてのことを働かせて益としてくださる」のです。赤ちゃんの体が胎内で成長するとともに、あなたも精神的に成長するでしょう。

1 か月めに
お医者さん
から言われたこと

私の**体**の変化

1 か月めに
私が考えたこと

私に語られた
みことば